

令和4年度 第1回 日進市環境基本計画策定委員会 議事録

- 日 時 令和4年9月15日(木)
午前10時から午後0時5分まで
- 会 場 市役所本庁舎4階 第2、第3会議室
- 出席委員 森下英治(会長)、原理史(副会長)、石川雅浩(委員)、市川和幸(委員)、今村慎吾(委員)、大野淳(委員)、川口暢子(委員)、川島宏道(委員)、瓦口翔馬(委員)、久保田孝(委員)、黒田忠晃(委員)、佐野功治(委員)、堀透(委員)、村上哲也(委員)
- 事務局 杉田武史(生活安全部長)、近藤伸治(環境課長)、河村秀根(環境課課長補佐)、祖父江篤人(環境課ESD推進係長)、宮田大(環境課ESD推進係主任)
- 傍聴者 2名
- 内容
 - 会長・副会長の選出
 - 諮問
 - 出席委員の確認 14名中14名の出席。日進市附属機関の設置に関する条例施行規則第4条第2項の成立要件を満たしていることを確認。

議題

(1) 第1次環境基本計画の概要及び課題について

(2) 第2次環境基本計画の策定方針について

会 長：それでは、議題(1)「第1次環境基本計画の概要及び課題について」及び議題(2)「第2次環境基本計画の策定方針について」事務局から説明をお願いします。

(事務局より説明)

会 長：第1次計画策定当時は、多くの市民参加のもと進めてこられたものと認識しています。市において裁量がない指標がありますが、市民団体・NPO等の協力・協働を前提で作られたものと思います。20年間の現行の計画期間の中で実施するのが難しい、手を付けていないもの等もあります。途中で計画見直しを行った際もマイナーチェンジに留まり、大きく変えることができなかつたこともあり、指標として芳しくなかつたものもあると考えられます。これまでの実績や反省点を踏まえながら、現実的に取り組めるもの、今日的な取り組み等を取り入れていただければと思います。

委 員：定量的な評価とは別に、定性的な評価も取り入れて欲しいと思います。数値目標は達成しなくても様々な活動も成果として何らかの形で表して欲しいです。

会 長：0か1かではなく、やったことがわかるような、やってきたことが評価されるような表現になればと思います。

副会長：1次計画の総括が必要だと思います。達成か未達成かではなく、社会経済情勢の変化、科

学的知見等を踏まえ、成果として評価すべきことは評価し、総括していただければと思います。それから、市の裁量があるかないかについても、国・県・市等の役割を踏まえ、全て市で行うことはあり得ないので、役割分担は常に念頭に置いていただければと思います。

事務局：定量的評価のみならず定性的な評価も求めたいというお話ですが、毎年作成している年次報告書において定性的な取り組みについても取りまとめており、これらの取組の報告については引き続きやっていきたいと思えます。また、役割分担等のご意見も念頭におき進めていきたいと思えます。

会 長：現行計画から体系図が変更される点については、何かありますでしょうか。

委 員：現行計画策定当時はなかったと思えますが、SDG sについては、次期計画のなかではどのように扱われるのでしょうか。

事務局：資料上に SDG s の明記はありませんが、当然に SDG s の考えを踏まえ、計画に盛り込んでいくものです。

委 員：次期計画は温暖化計画を盛り込んでいくとのことですが、現行計画の分野別計画の指標は、見直しとともに指標の数も減らしていくのでしょうか。

事務局：現時点で指標の数を具体的に精査しているものではないですが、コンパクトになっていく方向で考えています。指標の有効性・妥当性を踏まえ、かつ、他の行政計画で設定されている指標と重複しているものを整理統合していくからです。ただし、温暖化計画の指標のように新たに加わるものもあります。

委 員：他の分野の行政計画で用いられている指標も上手く活用していくのも一つの方法かと思えます。

副会長：交通体系など他のまちづくりに関する分野、人づくりの分野等は個別分野のなかで扱うのかもしれませんが、分野横断的なものはどのようにするのでしょうか。

事務局：地域公共交通対策については、組織や計画が別にあるため、それらのまちづくりに関することに言及していくものとはなりません、公共交通は温暖化対策の施策としては有効なものであるため、その点において取り扱っていくことになるかと考えています。人づくりについても、各分野の施策を推進するものとして整理していければと思えます。

会 長：いずれにしても具体の指標については、来年度に作成していくものですね。

委 員：人づくりとして例えば、ESDは計画の中でどのように扱われますか。

事務局：それぞれの分野を横断するようなものとなるので、そのような形で表していくものかと考えています。

委 員：各分野の体系とは別に、分野横断的なものについても検討していただければと思えます。

委 員：計画において市が何に一番力を入れるのか、アピールするのかというのが気になりますが、どうでしょうか。各分野が有機的に繋がっていることが分かるとよいと思えます。

事務局：体系図にある4つのカテゴリーは全て同列で扱うものであり、分野ごとのどれか1つを一番とすることはないかと思えますが、具体的な取り組み施策の中で市として推進するものを示していきたいと考えています。

委 員：体系図の構成についてはこれで良いと思えます。また、目標設定とは別に進めていくものがあったとしても良いと思えます。1次計画の目標値でも高すぎると感じるものがありました。進捗度合も良いものもあったと思えます。目標設定にとらわれず進めていくものがあった

ても良いと思います。

委員：市民とのワークショップをされるとのことですが、意義はどのようなものでしょうか。市民参加による計画策定のPRであったり、色々あると思いますが確認させてください。

事務局：計画策定だけにとどまらず、具体的取組を実施していく人づくりに繋がればと考えています。どこまでのものができるかは未知数であり、ハードルも高いものがあると考えていますが、実際に考えて、アクションを行う人づくりを目標としているものです。

委員：アンケートは16歳から35歳までの若者対象のものもやられるとのことですが、小中学生等子どもたちの意見も取り入れてはと思いますが、どのような考えでしょうか。

事務局：環境は未来につながるものであるため、次世代を担う若年層の積極参加を促すという観点から若者向けのアンケートを別に行うものとししました。その中で若年層の設定を16歳以上とさせていただいたものです。

委員：市民から見ると環境課題というのは、つまらなく見えがちだと思いますが、若年層をはじめ市民の方を巻き込み取り組めると良いと思いました。

委員：実効性のある計画であり、市の部局横断的に理解され実施されることが大切だと思います。環境に関することと都市整備に関することが連携不足であると感じたことがありました。他の所管との調整は難しいものもあるとは思いますが、そこらへんも強化していければと感じています。

会長：それでは、議題については以上で終わります。続いて5その他ですが、最後に各委員の皆様の自己紹介を兼ねて環境に関する日頃の取組やお考え等をお話いただければと思います。

(各委員の紹介)

(午後0時5分)